

# 小中野小学校漁業資料室 ～漁業のまち小中野の魅力発信～



27年2月にリニューアルオープンした八戸市立小中野小学校「漁業資料室」について、小中野町内  
ささもりしょうじ 連合会笹森昭二会長、もりよしあき 小中野公民館森喜明館長、いのうえかんじ 小中野小学校井上貫之校長にお話を伺いました。

## ○漁業資料室とは

平成5年7月、漁業のまちとして発展してきた小中野地域について、子どもたちに知ってもらおうと、小学校と小中野町内連合会をはじめ地域の漁業関係者らの協力を得て、古い漁具、航海計器、無線装置、大漁旗など漁業に関する資料が集められ、資料室が整備されました。

小学校の耐震化工事、隣接する小中野公民館建て替えに伴うスペースの一時提供のため、展示を休止していましたが、27年2月に場所を1階の教室から3階の教室に移転してリニューアルオープンしました。

## ○移転作業は地域のみんで

漁業関係資料は、イカリなど重いものが多く、1階から3階へ運び、展示し直すのは、とても大変でしたが、小中野町内連合会、小中野小学校おやじの会、公民館スタッフのほか、子どもたちも一緒に地域のみんで作業しました。

## ○リニューアルオープン後

漁業資料室は、子どもたちがいつでも見られるように6年生児童の管理のもと開放されています。

社会科の授業の中で展示の資料を見て勉強をしたり、休み時間に見学したりと活用されています。

## ○資料室の今後について

以前に比べ、地域の漁業関係者が激減している中、この資料室を活用し、小中野地域の漁業を子どもたちに伝えていくことが大切であると思います。

とても貴重な資料が多いので、データベースを整理し、八戸市内の他の小学校の子どもたちにも見学する機会を提供することができるようになればと考えています。



## 地域自慢⑳ - 2 歴史館

漁業資料室の隣の教室には、「歴史館」が整備されています。

歴史館には、地域の皆さんに提供してもらった「いじこ」(わら製のゆりかご)や炭火アイロンなど、民俗資料がたくさん展示され、子どもたちが見学したり、昔のおもちゃで遊んだりしています。